

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： しの福祉教育総研	所在地：長野県上田市真田町長 6918-1
評価実施期間：平成29年9月1日から平成29年11月22日 * 契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050431 B16022	

2 福祉サービス事業者情報（平成29年4月現在）

事業所名：上田市つむぎの家 (施設名)	種別：多機能型事業所 (生活介護・放課後デイサービス)
代表者氏名： 理事長 村上 恒夫 (管理者氏名) 施設長 岸田 博	定員（利用人数）：生活介護5名 ：放課後デイサービス5名
設置主体：上田市 経営主体：社会福祉法人上田しいのみ会	開設（指定）年月日： 平成24年4月1日
所在地：〒386-0034 長野県上田市中之条 802-2	
電話番号：0268-21-8800	FAX 番号：0268-21-8800
ホームページアドレス：	
職員数	常勤職員： 5名 非常勤職員 6名
専門職員	(専門職の名称) 名
	看護師 5名
	保育士・介護福祉士 3名
施設・設備 の概要	(居室数) (設備等) 室 (全室個室) 基準設備

3 理念・基本方針

(理念)

法人の基本理念として、「全ての人々が自立（幸せ支援）した生活を送ることを願うその実現を目指す」があります。基本方針としては、①明るく健康的で安心な暮らしの提供支援。②施設の開放オープン③人権尊重・人間性豊かな支援。④自主性主体性の尊重の4つを掲げています。その法人基本理念、基本方針のもとに以下、上田市つむぎの家の基本方針が設置されています。

(上田市つむぎの家基本方針)

利用者の方は、重度の肢体不自由と知的障がいを併せ持つ重症心身障がい児者の皆さんですが、正面から向き合いき得る限り、お一人おひとりの利用児者の皆さんやご家族の思いや幸せ感に寄り添う支援に全力で取り組みます。

- ① 和顔愛語の支援---笑顔で温かく和やかな表情・声かけで支援します。
- ② 安全安心な支援---医療的ケアや特別な介護支援ニーズの高い利用者の方が安心してご利用できるように、ご家族や関係機関と十分連携をとりながら、安全安心な支援に努めます。
- ③ 共有共感支援---利用児者・ご家族の思いや夢を共感し、その実現のために一緒にチャレンジします。
- ④ 包括的支援---ご家族、医療、保健、福祉、教育行政、相談支援、地域等の関係機関との連携の中でより良い支援を目指します。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

上田市つむぎの家を運営する社会福祉法人上田しいのみ会は、昭和52年肢体不自由のハンディキャップをもつ子の将来を案ずる父母の皆さんの長年の福祉施設建設運動により法人認可を得て、昭和53年4月上田市中之条に重度身体障害者授産施設「上田しいのみ園」を開設しました。平成6年には、授産施設で重度化、高齢化等で支援が困難になった利用者の方の医療的ケアを含め受け入れるために、上田市室賀に「しいのみ療護」を開設し、同時に社会的要請が多くなった高齢者のための特別養護老人ホーム「室賀の里」の開設がされました。平成20年には、在宅高齢者支援のための小規模多機能型居宅介護施設「陽だまりの家」を上田市小泉に開所しました。また、上田市より重症心身障害児者通所施設「上田市つむぎの家」の委託を受け、在宅の重症児者への対応を行ってきました。

上田市つむぎの家は、重症心身障がい児者のための施設で、上田市が先駆的な取り組みとして設置し、社会福祉法人上田しいのみ会が指定管理者として運営を行っている、公設・民営の施設です。事業内容としては、18歳以上の重症の障がい者の方が利用できる生活介護事業、養護学校等の重症学童が利用できる放課後ディサービス事業、就学前の重症児が利用できる児童発達支援事業を行う多機能型事業所です。

特に、障がいの重い重症心身障がい児者の皆さんの、安心・安定した在宅生活を継続的に支えていく重要な機能として位置付けられ、利用者の方やご家族のために積極的な運営が行われており、上田地域の在宅重症心身障がい児者にとり必用不可欠な存在となっています。

5 第三者評価の受審状況

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

① 重症心身障がい児者の皆さんのための、介護・医療体制が確立がされている。

利用者の多くの皆さんが重症の心身障がいのある方であり、そのための受け入れ態勢として、介護支援職員とともに看護師の配置(常勤1名、非常勤5名)を手厚く行い、介護と看護の協働による総合的支援体制が確立されています。このことにより、利用者の皆さんやご家族の方にとっても、安全で安心な活動が行われ充実した支援が受けられ、大きな満足感へと繋がっています。

② 支援職員が一对一の手厚い体制がとれている。

利用者数と同等の支援職員が配置されており、利用者への手厚い介護・看護体制がとられています。介護・看護の専門的な対応とともに、一对一による支援は、自らの意思表示等が難しい利用者の方への反応などきめ細かいサービスの実施が可能であり、一人ひとりの利用者の方への個別ニーズに即した支援が行われています。

③ 短期入所日中一時受け入れ実施を行っている。

生活介護、放課後デイサービス共に、短期入所日中一時受け入れの態勢整備を行い、利用者のニーズや要望に応えられる体制ができています。平成28年度には4名の利用者の方が、隣接する上田しいのみ園で、月に1回の一泊体験を行うことができました。今後も在宅重症心身障害の皆さんを、地域で支えるための機能充実に、積極的に取り組んでいただきたいと思います。

④ 少人数による家庭的な支援が行われている。

利用定員規模が5～6名と少数のため、個別的支援が行いやすく、外出時など行動しやすい体制と言えます。また、馴染みの職員にいつでも対応してもらえるため、利用者の方にとり暖か味のある家庭的な対応や活動が提供されており、つむぎの家は利用者の方にとりご家庭と同じような居心地の良い生活の場所となっています。

⑤ 障害者支援施設「上田しいのみ園」との連携による運営体制による支援。

隣接する同法人の障がい者支援施設「上田しいのみ園」との連携により、しいのみ園の行事(お花見会、バーベキュー大会、七夕祭り、クリスマス会等)に参加したり、職員研修会への参加など、合同で行うことができ、事業活動や研修の場が広がり、より良い支援体制の確立に繋がっています。

◇ 今後、改善等を期待したい点

① 提供するサービスの標準的実施方法の文章化及び検証組織の確立を望みたい。

提供サービスの標準的実施については、職員数が少ないため口頭などでの伝達で

実施可能ではあるが、実施方法の明示や文章化がされていません。今後、検証・見直しをするための組織(委員会等)の確立を行うことにより、提供されるサービスの統一化及び共有化が図られ、さらに高い福祉サービスの提供を望みます。

② 上田市つむぎの家としての機能の地域へのより一層の還元を期待したい。

地域の福祉向上の取組については、隣接する上田しいのみ園との合同により実施している面が沢山ありますが、上田市つむぎの家独自での取り組みや専門機能(重症心身障がい児者の皆さんの在宅生活を支える機能)を地域に還元することにより、地域の活性化やまちづくりにも貢献していくことを期待します。

③ 建物の老朽化にともなう改修・修繕について期待したい。

上田市つむぎの家が建設されて何年が経過し、建物全体の老朽化が進んできている。各箇所の修繕や食堂機能の回復及びおむつ交換等ができるプライバシールームの確保等、利用者の方がより心地よい活動や暮らしの提供ができる建物の改修や修理についても検討され、必要部分の修繕を期待いたします。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・別添付 (1) 事業評価の結果（共通項目）
- (2) 事業評価の結果（内容評価項目）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

聞き取り方式の場合（別添3-2）

- * 有効回答者数が10人未満の場合（利用者総数が、20人未満の事業所にあっては、有効回答者数が利用者総数の半数未満の場合）は、回答結果を公表しない。
その場合の、表記は、次のとおりとする。

長野県福祉サービス第三者評価事業評価結果取扱要領第2条第1項の規定により、有効回答者数が10人未満のため（有効回答者数が利用者総数の半数未満のため）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）